

第 111 回朝霞の森運営委員会 議事録

2024年10月12日(土) 9時30分～10時25分

朝霞の森 トレーラーハウス前

出席

委員:大野、田谷、富永、西、野上、峰岸、宮川、松永、立園

市:宇野、伊藤

【報告】

- ・利用状況等の報告

【議題】

① 大型イベント等の開催基準などの検討について

骨子案のたたき台提案

- ・一般利用が制限を受ける使用を大型イベントとする
- ・土日連続した大型イベントの利用はご遠慮いただく
- ・月に 3 回以上の大型イベントの利用はご遠慮いただく

以上の内容を市の利用申請時の判断に使ってもらうこととし、・朝霞の森にどうあってほしいかの理念、・電動キックボードの利用など新たな課題については今後継続して議論していくとの、提案説明。

これに対し以下の意見が出された。

- ・来てみたら遊ぶスペースがないことが問題。(占有とイベント情報周知の問題)
- ・全面を使用してのイベントもここに加えてはどうか。
- ・結論を急がない方がいい。理念を議論する方が大事で、それは大型イベントについてのみのことではない。
- ・細かいルールの前に朝霞の森らしさという理念を優先させたい。
- ・イベントの在り方に平等性がない点、問題とを感じる。
- ・主催団体間にも不公平な扱いがあった。委員会がそのことを知り得なかった状況にも問題を感じる。
- ・市の「イベントを楽しみしている市民と、森や黒目川の自然を大切にしたい市民と、両方がいる」との発言に、そのイベントは朝霞の森以外ではできないのか、「イベントか自然保全か」ではない、市全体の公共空間、施設利用のデザインの問題、との指摘。
- ・自然と暮らしの共存、折り合いがいちばん大切と考える。
- ・イベント実施の基準を委員会のこの人数で決めていいのか疑問。(この点には、委員会は検討機関であり、ルールなどの決定は運営会議によることを確認)

②上期朝霞の森運営会議の開催について、③その他、2点については時間がなく省略。

以上

【継続課題】

- ・朝霞の森の理想的使われ方
- ・委員会流会対策